ひとり親世帯への支援制度のお知らせ

生活支援

○ひとり親家庭等日常生活支援事業

母子家庭、父子家庭、寡婦の人が、保育や家事などで一時的に支援が必要なとき、支援員を派遣したり、支援員の自宅でお子さんの世話をします。

【支援内容】 子育て支援……保育サービス
生活援助……家事、介護　他

【支援場所】 家庭生活支援員の居宅、利用者の居宅

【利用料】 所得に応じ、利用料の負担が変わります

利用世帯の区分	利用者の負担額（1時間あたり）	
	子育て支援	生活援助
生活保護世帯、市町村民税非課税世帯	0円	0円
児童扶養手当支給水準の世帯	70円	150円
上記以外の世帯	150円	300円

【利用方法】
①市子ども課で事前に登録
②利用したい日時・内容を岩手県母子寡婦福祉連合会に依頼
③連合会が調整を行い、家庭生活支援員を派遣
④費用負担が発生する場合は、県が後日送付する費用負担額の納付書で利用料を支払う

問い合わせ　市子ども課　☎22-5121

経済支援

○ひとり親家庭医療給付

18歳に達する日以後、最初の3月31日までの間にある児童を養育しているひとり親とその子、および父母のない児童の経済的な負担を減らすことを目的として、医療費の一部を補助します。

○児童扶養手当

18歳に達する日以後、最初の3月31日までの間にある児童を養育しているひとり親家庭に対し、生活の安定と自立の促進を図るため、手当が支給されます。

○母子・父子・寡婦福祉資金の貸し付け

ひとり親家庭などの生活の安定、子どもの福祉、経済的自立を図るための、無利子または低利の貸し付け制度です。

○母子家庭自立支援給付金・父子家庭自立支援給付金

ひとり親家庭の父または母に対して、就職に生かせる資格取得のための講座受講費や就学中の生活費の負担軽減を図るため、給付金を交付します。

「ほいくのしごと出張相談会」を開催します

日時　8月28日㈮10時30分～14時
会場　ハローワーク釜石　選考相談室
内容　保育に関する就職相談、専任コーディネーターから保育に関する情報提供など
対象　保育士の就職について相談したい人（学生も可）
留意事項
⑴事前予約を優先していますので、相談を希望する人はご連絡ください
⑵お子さんをお連れの場合も、参加いただけます
※託児はつきません

予約・問い合わせ　岩手保育士・保育所支援センター ☎019-637-4544

「知っておきたい こども園・幼稚園・保育園のあれこれ」を開催します

各施設の特徴や手続き方法、入園までの準備や幼児教育無償化などについて説明します。また、現場の先生が園生活の様子をお話しします。

対象　令和3年4月に子どもの幼稚園・保育園などへの入園を希望する保護者など、どなたでも

開催日程

鵜住居地区生活応援センター	8月26日㈬10時～11時
中妻地区生活応援センター	8月29日㈯10時～11時

※8月21日㈮までにお申し込みください

申し込み・問い合わせ　市子ども課　☎22-5121

園長先生のおはなし

子どもは集団の中で

正福寺幼稚園　園長
菊池啓子

「三密」「ソーシャルディスタンス」言葉だけは園児もしっかり覚えました。でも、普段の園生活で子どもたちが間隔をあけて遊ぶというのは難しい事です。遊びは子どもたちの無限の可能性を引き出し、遊びの中で子どもは育っていきますが、遊びは他の子との関わりそのものだからです。

園のバスから降りる時、年長児がごく自然に年少の子と手をつなぎます。身体測定時にはお助け隊となってマンツーマンで年少児のお世話をしてくれます。お世話する方もされる方もとっても嬉しそうです。七夕の飾りつけも盆踊りも年長児が遊びの中で自然に年下の子たちに教えてくれました。園長室に遊びに来る年少児に「ここは園長先生がお仕事するお部屋だよ。ソファーに乗って跳ねてはダメ」と教えてくれたのも年長児。忙しそうな私を見て「ねえ、オレと鬼ごっこしよう！」と見事に誘い出してくれた子もいました。こうして集団の中で上の子から下の子へ、マナーや優しさが受け継がれていきます。

子どもたちが思いっきり密着して遊べる日が早く来てくれる事を願わずにはいられません。

市民のひろば

Public Relations Lounge

すこやかアイドル

藤井優杜（ふじいゆず）ちゃん（2歳）
元気いっぱいに育ってね！

西条美舞（さいじょうみいま）ちゃん（2歳）
元気に笑顔満載！ですくすく育ってね

岩城杏莉（いわきあんり）ちゃん（3歳）
これからもニコニコ元気に成長してね

平松碧唯（ひらまつあおい）くん（2歳）
元気に大きくなってね！

藤井玲央（ふじいれお）くん（2歳）
元気いっぱい育ってね！

須藤葉月（すとうはづき）ちゃん（2歳）
葉月らしく明るく元気に育ってね

※「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。
1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？
市広聴広報課（☎27-8419）までぜひご連絡ください。

フレッシュ！きらり

多田（ただ）　和佳菜（わかな）さん
（20歳・野田町）
釜石消防署　勤務

声で安全を届けます

時には人命に関わる情報もあり、マイクに向かう姿は真剣そのものです

釜石消防署に昨年10月、初の女性消防士が誕生しました。「男性の仕事」というイメージを持たれがちな消防の世界に飛び込んだ多田さんに、お話を伺いました。

★どんな仕事をされていますか？

防災行政無線担当として、防災情報の発信をしています。緊急時にも正確な放送ができるよう、日頃から聞き取りやすく分かりやすい放送を心がけています。

仕事はそれだけではなく、所属する予防係では、学校や施設の消防訓練、防火対象物の立ち入り検査、学校などでの着衣水泳訓練といった、事故や火災を起こさないための活動をしています。また「化学車隊」の一員として、火災が発生すれば現場で消火活動にあたります。

★消防士を目指したきっかけは？

直接津波の被害を受けてはいませんが、やはり東日本大震災には強い衝撃を受けました。進路の決め手になったのは北海道胆振地震で岩手県からも消防防災ヘリが出動し、救助活動に奮闘する姿に感銘を受けたことです。

★今後の目標

当初からの目標だった救急救命士の資格を取得し、一層、人命救助の現場に携わりたいです。

★消防士に興味がある女性へ一言

消防の仕事は体力が要る、男性社会というイメージかもしれません。しかし、女性だからこそ任せられる仕事もありますし、学校での防災啓発活動など子どもたちと関わる機会もあり、大変なだけの仕事ではないと知ってほしいです。なにより、人の命を助けることができる仕事なので、ぜひ女性にも消防士が増えてほしいと思っています。

※「フレッシュ！きらり」では、まちで見かけた次代を担う青年男女を紹介します